

# 衆議院財務金融委員会ニュース

【第 211 回国会】令和 5 年 3 月 8 日（水）、第 7 回の委員会が開かれました。

## 1 関税定率法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 13 号）

- ・鈴木財務大臣兼金融担当大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。  
（質疑者）道下大樹君（立憲）、米山隆一君（立憲）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 道下大樹君（立憲）

- （1） 航空機部分品等免税制度について、対象となる部分品等が国産困難と認められる理由及び国産化に向けた取組の有無
- （2） 輸入家具、カーテン、テーブルクロス、カーペット及びマットレスの関税率並びに国内家具産業保護の観点からみた輸入家具関税の在り方
- （3） 国内農業者保護の観点から、需給動向を勘案した関税割当制度の適正な運用を図り、農業者が安定的に生産できるよう取り組む必要性
- （4） 加糖調製品の暫定税率について、国内産糖業界を保護する観点からの政府の見解及び今後の取組
- （5） 税関事務管理人制度の拡充について、今回の制度見直しで実効性が十分に確保されるか否かについての政府の認識及び今後の取組
- （6） 税関業務を取り巻く環境変化・課題に対応するため、更なる税関職員の定員確保・拡充の必要性についての大臣の見解及び今後の取組
- （7） 対ロシア経済制裁のうち中古自動車輸出制限について経済制裁で連携する各国との検討・議論も含めた政府の認識及び今後の取組

### 米山隆一君（立憲）

- （1） 加糖調整品に係る関税の取扱い
  - ア 糖価調整制度による令和 3 砂糖年度調整金収支が 448 億円程度の累積赤字となる理由
  - イ 暫定税率引下げによる調整金収入の増加見込額及び調整金収入の用途並びに砂糖販売価格の引下げ効果の有無
  - ウ 砂糖需要の急激な回復が見込めない中、糖価調整制度の調整金収支が悪化し続けることが制度維持を困難にするとの懸念を受けての農林水産省の今後の展望
- （2） 豚肉の差額関税制度
  - ア コンビネーション輸入により意図せず違法輸入となってしまう場合を含めた違法輸入防止に対する税関の取組内容
  - イ 不正輸入及び事務量増加の防止の観点から豚肉の分類（HSコード）を部位ごとに分ける必要性
  - ウ TPP11 協定発効から段階的に税率が引き下げられた 10 年後の同制度が国内生産者に与える影響についての政府の見解
- （3） 令和 5 年 2 月 15 日の衆議院予算委員会における岸田内閣総理大臣の「家族関係社会支出は 2020 年度の段階で GDP 比 2% を実現しています。そして、それを更に倍増しようではないか」との答弁
  - ア こども家庭庁の予算額を機械的に 2 倍にする場合に関する大臣の認識
  - イ 岸田内閣総理大臣による上記答弁の「倍増」は、機械的な 2 倍という数字ではなく「たくさん」という意味であるとの意見に対する大臣の所見